

# M I A NEWSLETTER

MIA ホームページアドレス <http://www.mia-jp.net/> - 2009年1.2.3月号 -

<例会> 毎月原則第一水曜日 1:00~ティータイム 1:30~例会

例会はいつでも誰でも参加できるオープンな会です。どうぞお気軽にご参加ください。



<各委員会・同好会・活動報告> ー1月以降の行事報告(日付順)

ワークショップ 12/1(月)1/6(火)2/17(火) 於) 仁藤茶室

3回シリーズ、洗える長襦袢「うそつき」作り方講習会。「わが母の教え給いし」うそつき襦袢、着物を着る人には洗濯機で洗えるので気楽に使えて便利です。

長谷川幸子



世界の食文化 ” 京都の食を楽しむ会” 1/28(水) 12:00~16:00 樋田宅 参加者 16名

辻さん、吉本(洋)さんのご協力で「辻家の京風白味噌仕立てのお雑煮」と「吉本家の京野菜のお料理」で再びお正月気分を味わいました。

わざわざ取り寄せてくださった高野山のお屠蘇で、まずは“今年もよろしく”と皆でご挨拶。折敷の上のお皿には、丹波の黒豆、数の子や菊花蕪などが取り分けられ、年代ものの立派なお重には、京人参、竹の子や蕪などを材料としたお正月料理が彩りよく収まり、お箸をつけるのがもったいないほど。吉本さんの腕が発揮されたお重の中の数々のお料理はとても美味で、皆さん感心!そしてこの日のための準備に感謝でした。

そして次は辻家のお雑煮が順次供されました。辻さんのお母様が作っていらしたお雑煮で、丸もちが昔は焼いたそうですが、今回は電子レンジでチンしてお汁の中に入れてからお椀に入れました。お餅の上には里芋、人参、大根やほうれん草が彩りよく入り、最後に青海苔と削り節がのって熱々のうちにいただきました。お汁は白味噌の質が大切で、懐石用が良いというお話。程よい濃さのお汁もとても美味で、お代わりの所望が出る程の人気でした。その後しばらくおしゃべりに花が咲き、差し入れの富山の綺麗なお干菓子や京都の阿じゃ梨餅をいただきお抹茶を一服。

井口さんのチェロの演奏でお開きとなりました。吉本さんの京都のご子息の協力と、辻さんのご主人様の楽しい言葉のエンカレッジにも感謝。 樋田

ワークショップ 2/13(金) 11:30~15:30 於) 本間宅 参加者 20名

「シフォンケーキ講習会と打ち上げ会」が開かれました。広々した本間邸もさすがに20人とあって満員御礼。竹村講師が勘所を惜しみなく伝授しつつ、しなやかなその美しい指先からは、見事に艶々したフワフワ生地が生み出されてゆきます。まさにマジックハンド!実は簡単そうで難しいのがシフォンケーキ。皆、一度ならず悲しく萎んでしまった経験があるだけに、

見つめる目は真剣そのもの。講師のたまわく「30回作ってください。手が、体が、加減を覚えます」。「フーム」と皆、心底納得。2,5キロの牛肉を煮込んで下さった美味しいビーフシチュウとひじきと野菜のゴマドレサラダの昼食は味よし彩りよし栄養バランスもさらによし。食後に、ハーブ風味と焼きたてのプレーンシフォン、チョコレートケーキを味わい、全員満面の笑み。 大高



世界の食文化・文化探訪の会共催 <江戸東京博物館とちゃんこ鍋> 2/19(水) 12名

両国界限、今まで話には聞いても食べたことがなかったちゃんこ鍋を、はじめて味わいました。

醤油味、味噌味の四つの鍋を囲み、湯気立つ美味に、寒さで縮んだ体も心も芯から温まりました。次いで、江戸東京博物館を訪れ、薩摩焼の特別展を鑑賞。それは見事な美しさに一同見とれました。

—定期的な活動から—

<いけばな教室> 第2、第4火曜日 13:00~15:00 パレスビル 3F



<日本語教室> 毎週火曜 10:30~12:00 パレスビル 3F

毎週木曜 19:00~20:30 藤ヶ丘地区センター

<音楽> 第3木曜 10:00~12:00 小川会員宅

<ホームページ> 2/4(水)、3/4(水)10:00~「よろずパソコン相談会」開催。会員サイトにブログが開設されました。会員同士の交流にお役立てください。(千葉)(山内)

### 例会報告

月日	例会	内容
1/14(水)	「新年会」 	例会に先立つ12:00より恒例の新年会が開かれました。小島会長お心づくしのお寿司やご馳走の数々を皆でいただきながら談笑し、英気を養って、「今年も楽しく張り切っていきましょう」
2/4(水) 14:00~	「本庄谷京子さんを偲ぶ会」 	12/28 逝去された本庄谷京子さんを偲ぶ会が開かれました。竹村さんの司会進行で、「MIA 設立程なく入会され、以来、常に中心的に活躍されてきた方だけに誠に残念…」との会長挨拶から始まり、大学時代以来の友人長谷川幸子さんの経過報告。「重篤な病状にも関わらず全てを受容し、最後までユーモアを忘れず、淡々と…」と最後のご様子が語られました。今回ご本人の希望を受け緩和病棟入院に尽力されたのが森井夫妻。病床で「私、今、本当にうれしいのよ」とおっしゃるのを聞き、自分の人生よかったという、送る側送られる側ともに「いい形の旅立ちのお手本を私達に示してくださったのでは…」と森井さん。森井先生は、死を受容した凛としたそのお姿に「女性ながら侍のような…」と洩らされたとか。がん友の松坂さん、謡で送る言葉の雫石さん、見事な朗読の竹村さん、そして最後に出席者全員が本庄谷さんとの折々の縁 <small>えにし</small> や心温まるエピソードを語り継ぎました。皆で歌った「千の風になって」の歌声がどうか届きますようにと、天を仰ぎ見つつ、想いを馳せて…。

### 本庄谷礼介様よりのメッセージ

此の度の、妻京子の死去の際には多数の方々からご丁寧なご弔詞、ご香志を賜りまして誠にありがとうございました。

今回、「偲ぶ会」を催して頂き、皆様から数々の心暖まるお言葉を頂いた由、長谷川様、竹村様から伺いまして感激しております。京子は生前、折りある毎に、MIA のお陰で自分の人生が如何に稔り多かったかを私に語っておりました。長い間お世話になり本当に有難うございました。

本庄谷礼介

### 事務局より -新入会員のお知らせ-

・岡部恒子 〒225-0013 青葉区荏田町 297-3-413 Tel&Fax 045-911-4675

・西野啓子 〒227-0055 青葉区つつじヶ丘 9-1-327 Tel&Fax 045-961-2528

\*情報伝達のスピードアップ、通信費削減のため、メールアドレスを登録された方には、行事案内・Newsletterなどを原則としてメールで送らせて頂きます。(登録してない方には従来どおり郵送))